

ディープインパクト探査における放出物の時間・空間分布

Spatial and temporal distributions of ejecta in Deep Impact mission

門野 敏彦 [1]

Toshihiko Kadono[1]

[1] IFREE

[1] IFREE

アメリカ航空宇宙局 (NASA) のディープインパクト探査機から発射されたインパクター (衝突物) は 2005 年 7 月 4 日 (UT) にテンペル第一彗星に衝突し、彗星内部物質の放出に成功した。われわれは、彗星コマ大気の影響が少ない中間赤外光を観測するために、地上からすばる望遠鏡中間赤外検出器 COMICS を用いて観測を行った (Sugita et al.2005)。

本発表では、今回の観測で得られた光度の時間変化と空間変化 (Sugita et al. (2005) の図 2 と図 4) をもとに、放出された塵の質量 - 速度の関係を推定した結果を報告する。